

## 令和7年度福祉部会第3回研修会 報告

日 時：令和8年2月10日（火）14：00～16：30

方 法：対面およびオンデマンド配信

会 場：東邦ガス プロ厨房オイシス 調理セミナールーム

参加者：対面10名、オンライン16名 計26名

テーマ：「ライフステージでみる食支援」

講 師：愛知学院大学 健康科学部 教授 牧野 日和 先生



「お食い締め」という考え方を広めた、言語聴覚士の牧野日和先生をお招きし、講演と実習の研修会を開きました。前半は小児・障害者の摂食嚥下支援から、認知症の食支援、最期まで口から食べるための講演を、通常18時間ほどかけて話されるという内容を2時間程度にまとめていただき、脳や口腔機能の発達から、キュアとケアの違い、機能障害と食形態、手元調整、認知症支援まで、とても充実した内容となりました。



講演で「食べる」プロセスについての理論を頭に入れた上で、後半は手元調整の実習を行いました。協賛企業様より展開食の試食等を提供いただき、さらにそれを実際に食べてみました。先生がおっしゃるような食べ方をして、口の中の動きを確認すると、頭で考えていたのと違っていたり、人によって違いがあったり、、、新しい学びがたくさんありました。

講演の最後におっしゃられた“看取り期の支援は、「治すことに力点を置くだけ」ではなく、「運命を受け入れる家族の悲しみに寄り添う」こと”という言葉が胸に残りました。今回の研修会を通して、業務の中での見方や考え方にちょっとした変化や、手元調整をしていくなど皆様の実務に役立つ内容になった研修会になったと思います。



(報告者：伊藤日奈子)